

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大和川河川事務所	階数	地上3F
建設地	柏原市大正2丁目10番8号	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、準防火	平均居住人員	80人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,160時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2017年11月16日
敷地面積	3,797㎡	作成者	都市環境設計 杉浦
建築面積	1,029㎡	確認日	2017年11月17日
延床面積	2,965㎡	確認者	都市環境設計 木村



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.9

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 機能性、柔軟性を備え、環境と調和した庁舎とする。		その他 内装木質化による、CO ₂ 排出量の削減
Q1 室内環境 南面採光で、自然換気も期待できる明るい事務室環境とする。	Q2 サービス性能 機能性、柔軟性を備え、長く利用していくと共に、災害時にも機能する信頼性のある施設とする。	Q3 室外環境(敷地内) 庁舎としての機能に配慮した上で、景観として周辺環境に調和したものとす。
LR1 エネルギー 自然エネルギーの利用、建物外皮性能の向上により、省エネルギー化をはかる。	LR2 資源・マテリアル 雨水利用、リサイクル材の使用に配慮する。	LR3 敷地外環境 地球環境、周辺環境に配慮した施設とする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0120

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	大和川河川事務所庁舎					
		建設地	柏原市大正2丁目312-1の一部、他筆					
		用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆				A		
	CO2削減	★★★★☆				4		
	省エネ対策	★★★★☆				4		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.6	4		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	4.0	4			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		5.0				
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		5.0				
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		3.5				
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0				
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.8				
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		自然エネルギーの利用、外皮性能の向上により省エネルギー化をはかる。						